

科目ナンバリング		U-ENG20 22503 SJ77									
授業科目名 <英訳>		グローバル・リーダーシップセミナーⅡ(イノベーションとその事業化) Global Leadership Seminar II (Innovation and its commercialization)				担当者所属・ 職名・氏名		工学研究科 教授 工学研究科 講師		本多 充 平井 義和	
配当 学年	2回生以上	単位数	1	開講年度・ 開講期	2023・ 後期集中	曜時限	集中講義	授業 形態	演習	使用 言語	日本語
【授業の概要・目的】											
<p>社会が京大生に求める能力は、主に「各専門分野に関する深い知識」と「自ら課題を見いだし解決への道筋を提示する能力」です。本授業では、通常の講義や大学生活の中で身につける事が難しい後者の能力を、グループワークによる新規事業立案を通じて育成します。個人による活動も認めますが、グループによる活動を推奨します。</p> <p>【本授業の特徴】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 充実した講師陣：企業で活躍中の著名なイノベーターによるメンタリングの下、課題設定、解決のための企画立案を実施 2. 活動予算の付与：企画案の検証のための市場調査、試作品製作、ソフト開発に必要な予算を付与 3. 発表の機会：優秀提案は、桂図書館に展示される等、事業化の機会が与えられる <p>【メンター】</p> <p>大嶋光昭 特命教授（パナソニックHD 名誉技監、ESL研究所所長） 手振れ補正、5G通信等を発明した日本を代表するイノベーター（紫綬褒章、旭日小綬章受章） https://hillslife.jp/learning/2018/05/06/new-perspective6/</p> <p>西本清一 名誉教授（京都高度技術研究所 理事長） 京都地域の科学技術振興や、ベンチャー・中小を中心とした企業の発展を支援 https://www.astem.or.jp/about/researcher/nishimoto</p> <p>金子健太郎 教授（立命館大学 総合科学技術研究機構 教授） FLOSFIA共同創業者であり、新しい半導体材料を次々創出 https://kaneko-lab.ritsumei.ac.jp/</p> <p>對馬哲平 氏（ソニー(株) モバイルコミュニケーションズ事業本部 wena事業室 統括課長） Sonyのスマートウォッチwena事業の創業者 https://www.sony.com/ja/SonyInfo/Jobs/recruit/business/sap/tsushima.html</p> <p>青山秀紀 氏（パナソニックHD 主任技師） 可視光通信技術LinkRayTMを開発、IEEE802.15.7通信規格を副議長として国際規格化 https://hidekia.github.io/</p> <p>向井 務 氏（パナソニックHD 主幹） イスラエルにて、ベンチャー企業とのオープンイノベーションを推進</p> <p>大嶋特命教授は、iPhoneにも搭載されているカメラの手振れ補正や5G携帯の高速データ通信や超低遅延通信などの基本特許を発明し開発した「日本の代表的発明家10名」に選ばれている研究者です。さらに任天堂Wiiソフトの海賊版防止や日米欧のデジタルTV放送規格、IoT家電などを発明された多分野型発明家で、シリアル・イノベーターとしても有名です。大嶋特命教授には、社会を変えるような大きな発明がどのような発想から生まれるか紹介してもらいます。</p> <p>本講義については下記ページにも記載があります。 http://www.erc.t.kyoto-u.ac.jp/news/gl_seminar2_2023</p>											
グローバル・リーダーシップセミナーⅡ(イノベーションとその事業化) (2)へ続く											

【諸注意】

工学部2回生以上を対象とします。本セミナーの単位数は1ですが、卒業に必要な単位として認定されるか否かは、所属学科によって異なります。必ず所属学科事務室で確認して下さい。また、12月2,3日に合宿を行う予定ですので、学生教育研究災害傷害保険に加入している必要があります。合宿は、参加を推奨します。

【到達目標】

課題の抽出・設定から社会的価値の創出を視野に入れた課題解決の提案まで、グループワークを通じて企画立案能力を身につけられます。

【授業計画と内容】

対面方式で実施します。

オリエンテーション...1回,授業の概要とスケジュールを説明します。

レクチャー...3回,有識者による特別講演を実施します。

グループワーク...7回,課題設定と問題抽出、ならびに資料収集とグループワークを行います。

討議形式による集中的なグループワークを通じて、課題解決に向けた提案を企画立案し、報告書原案を作成するとともに、2～3回のプレゼンテーションを実施します。特別講師によるミニレクチャーの実施も一部予定しています。

合宿...1回,履修者とメンターたちだけの環境下で、集中して課題製作に取り組みます。

予備検討会...1回,予備検討会を実施し、ディスカッションを行います。

成果発表会...1回,最終プレゼンテーションおよびプレゼンテーション資料の提出を行います。

【履修要件】

履修者の定員を20名程度とします。

本科目は令和3年度より科目名を変更しています。

旧科目の「GLセミナーⅡ(課題解決演習)」を既に履修済みの場合、仮に新科目を履修しても増加単位となるだけですので、注意が必要です。

【成績評価の方法・観点】

【評価方法】

平常点評価(20%)と、講義の最終回で実施する、成果発表会でのプレゼンテーションとプレゼンテーション資料の提出(80%)で評価します。

平常点評価は、講義への積極的な参加態度が評価対象になります。

【評価方針】

グループ討議形式による課題の抽出と設定能力、目標達成に向けた解決策の提案能力を総合的に評価します。

履修者は、課題やグループワークを通じて、個人あるいはグループでのビジネスプランを立案し、成果発表会で発表する事を必須とします。

講義への出席そのものは成績評価の対象としませんが、グループワークを通じての活動となることから、毎回の出席が推奨されます。

[教科書]

必要に応じて知らせます。

[参考書等]

(参考書)

高田 貴久 『ロジカル・プレゼンテーション』(英治出版,2004) ISBN:978-4901234436 (人を説得できるプレゼンについて、全般に学べます。)

木谷 哲夫 『ケースで学ぶ実践・起業塾』(日経BPマーケティング,2010) ISBN:978-4532316365 (起業について、着想から株式公開、エグジットまで、ケーススタディ付きで学べます。)

大嶋 光昭 『「ひらめき力」の育て方』(亜紀書房,2010) ISBN:978-4750510019 (講義にも参画頂いている大嶋先生が、これまでの発明品の着想から実現に至るまでの過程を細かく解説しています。)

受講生の参考となる本を列挙したもので、講義で使うわけではありません。そのため、必ずしも購入する必要はありません。

[授業外学修(予習・復習)等]

予め、講義を通じて取り組みたい自分のアイデアを温めておいて下さい。

(その他(オフィスアワー等))

令和5年度 実施スケジュール予定
総合研究9号館W3講義室にて、金曜5限に対面形式で行います。
第3回講義のみ、総合研究9号館N5講義室にて実施。
オリエンテーション: 10/6 グループワーク基礎: 10/27
対面グループワーク: 10/13, 11/10, 17, 12/1, 8, 15, 22, 1/5, 12, 19
合宿: 12/2(土) 13:00 ~ 12/3(日) 13:00@あうる京北
成果発表会: 1/20(土)

取得した単位が卒業に必要な単位として認定されるか否かは、所属学科によって異なります。所属学科の履修要覧を参照して下さい。

履修登録はKULASIS経由ではなく、下記ページから行います。

https://www.t.kyoto-u.ac.jp/fs/erc/2023Fall_GL_seminar2

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

[実務経験のある教員による授業]

分類

合宿研修によってグループワークを実施し、企画立案力・課題解決力を育成すると共に提案書の内容について素案から完成版に至る各段階での口頭発表を通してプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を強化する

当該授業科目に関連した実務経験の内容

実務経験を活かした実践的な授業の内容